

令和2年度

人間ドックの受診者を募集します



【対象者】

40歳～74歳までの国民健康保険加入者
※1世帯から1人の申し込みとなります。
※健診当日に国民健康保険に加入していることが条件です。
※他の健康保険（社会保険など。）に加入したまま受診した場合は、受診料を返金していただく場合があります。

【選考基準】

- ①町で助成する人間ドックを初めて受診する方
- ②現在、治療中の疾患がない方
- ③過去に町で助成した人間ドックを受診してから、長い年月が経過している方
- ④国民健康保険税の滞納がない方

【申込方法】

申し込み先に備え付けの用紙に、必要事項を記入して提出してください。

※応募者多数の場合は、調整させていただくこともあります。

【申込締切】

3月27日（金）※執務時間中に限ります。

【受診者の決定】

申し込みいただいた方へ、別途、通知します。

【受診医療機関・定員等】

受診医療機関	定員	個人負担金
竹田総合病院	20人	16,416円
会津中央病院	20人	16,848円
県立南会津病院	男性	10人
	女性	10人
福島県保健衛生協会	男性	10人
	女性	10人
国際医療福祉大学病院	男性	5人
	女性	5人
計	90人	

※個人負担金は前年同額のため、変更する場合があります。
※胃カメラは、医療機関によって受診人数に限りがあります。
※人間ドックを受診された方は、町の特定健診やがん検診などは受診できません。

【申込み・問合せ】

健康福祉課 健康増進係 電話0241(62)6170 館岩総合支所 町民課 住民係 電話0241(78)3325
伊南総合支所 町民課 住民係 電話0241(76)7713 南郷総合支所 町民課 住民係 電話0241(72)2225



すまいるだより

vol 23

【子育ての相談】
子育て世代包括支援センター「えがお」（健康福祉課内）
電話 0241(62)6170
メール egao@minamizaki-nv.org

スクールソーシャルワーカー、保健師など。）に一声おかけください。
私たちは、大きな変化を一緒に乗り越える方法を考えたいと思います。新生活を応援しています。

4月には入学や引っ越し、就職など、新しいことが始まる季節です。大人でさえ初めての体験は緊張しますから、経験の少ない子どもは、期待と不安でいっぱいになるものです。また、子どもの中には、新しい環境の変化を敏感に感じる子もいるため、事前準備が大切になります。

まずは、新しく出会う支援者へ、事前に子どもの情報をできるだけ取りたいと伝えることです。
例えば、初めて保育所に入所するときは、保育士の先生方に子どもの好きなことや苦手なこと、不安に思うことをお伝えするとよいですし、小学校に入學するときは、保護者はもちろん、保育士や幼稚園の教諭からも申し送りするようにお

ま、新しく出会う支援者へ、事前に子どもの情報をできるだけ取りたいと伝えることです。
例えば、初めて保育所に入所するときは、保育士の先生方に子どもの好きなことや苦手なこと、不安に思うことをお伝えするとよいですし、小学校に入學するときは、保護者

例、初めて保育所に入所するときは、保育士の先生方に子どもの好きなことや苦手なこと、不安に思うことをお伝えするとよいですし、小学校に入學するときは、保護者

願います。事前に情報が得られると、受け入れる側の支援者も準備をすることができます。

言葉の伝達だけでは不安な方は、ぜひ「サポートブック」を作成してみましょう。
サポートブックは、子どもの取扱説明書のようなもので、何が得意で、どう関わるとうまくいかなどを書き留めることができます。県のホームページから「さすけねえ南会津サポートブック」がダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

次に、新しい環境の情報を、事前に子どもへ丁寧に伝えておくことも大切です。
私たち大人も、例えば、台本がないままいきなり本番の舞台に上がってくださいますよ。環境の変化に敏感な子どもが慣れた生活から一変し、先の見通し

環境の変化と言え、朝の過ごし方も大きく変わることが多いものです。時間を知らせておくことも大切です。

は、大人と同じように大きな不安を感じるものです。
この不安を解消するために、施設を見ることや、困ったときは誰に声をかければよいかなどを具体的に教えると効果的です。

また、子どもの年齢が小さいほど、先の見通しを立てることが大切です。もし環境が許されるならば、慣らし保育の期間を設けてもらうことや、活動内容をスケジュール化して伝えることも有効な手段です。

小 学校への入学は大きな変化です。子どもには、このコーナーで紹介するおすすめ図書「しょうがっこうがだいすき」などを参考に、学校ではどんなことをするのか、楽しみも含めて事前に伝えておくようにしましょう。

環境の変化と言え、朝の過ごし方も大きく変わることが多いものです。時間を知らせておくことも大切です。

らせてくれる時計の見方を学習していない子どもは、時間の経過を実感することが苦手です。そこで、一つの工夫として、絵に描いたアナログ時計と実物を見比べながら予定を進めるなど、具体的に時間を意識させるよいかもしれません。

また、テレビ画面に表示されるデジタル時計を見せながら「7になるまでに着替え終わらせようか」などの声かけも、時間を意識させる方法の一つです。このような小さな工夫を続けることで、時間の流れを意識できるようになり、自分で活動に見通しをつけて行動できる可能性が高くなります。

それでも、子どもが新しい環境への不安や動揺がある場合は、それはわがままではなく「安心したい」という必死な気持ちであることを忘れないでください。どうしてもうまくいかない状況が続くときは、周りにいる支援者（学校の先生や

しょうがっこうがだいすき
「しょうがっこうがだいすき」
うい／作
えがしらみちこ／絵



【おすすめ図書】

「あさですよ よるですよ」
かこさとし／さく



「しょうがっこうがだいすき」
うい／作
えがしらみちこ／絵

元気な高齢者を応援 元気な高齢者を応援 元気な高齢者を応援

令和2年度分の利用助成券を交付しますので、希望される方はお申し込みください。

【対象者】

町内にお住いの70歳以上の元気な高齢者の方
※介護保険制度による要介護、要支援の認定者は対象外です。

地域	施設名
田島	夢の湯（滝原）
館岩	白樺の湯（高杖原） ことぶき荘（湯ノ花）
伊南	赤岩荘（古町） 窓明の湯（大桃）
南郷	さゆり荘（界） 里の湯（山口） きらら289（山口）

【助成券交付枚数】

申請月	対象者用	送迎者用
4～6月	5枚	2枚
7～9月	4枚	
10～12月	3枚	1枚
1～2月	2枚	
3月	1枚	

※助成券は1枚あたり500円が上限です。

※上限を超える料金の差額は自己負担です。

【送迎者用助成券】

対象者を送迎する運転者用です。（親族や年齢、居住地などは問いません。）

【受付開始日】

4月1日（水）

【申込みに必要なもの】

対象者	印鑑	利用資格者証
はじめての方	○	—
2回目以上の方	○	○

【申込み・問合せ】

健康福祉課 社会福祉係
電話0241(62)6170
館岩総合支所 町民課 住民係
電話0241(78)3325
伊南総合支所 町民課 住民係
電話0241(76)7713
南郷総合支所 町民課 住民係
電話0241(72)2225